

アルカリシリカ反応抑制対策

コンクリート中のアルカリ総量を規制

和光産業(株)鳥取工場

(令和 6年 6月度)

工場長	品管責任者	試験係
森	清水	堀江

〔アルカリ総量の計算表〕

設計基準強度 30.0—12—15

①	セメントの全アルカリの直近6ヶ月の最大値% (令和 6年 1月～令和 6年 6月)	0.61
②	単位セメント量(kg/m ³) (配合表に示された値)	372
③	1 m ³ 当たりのセメント中のアルカリ量(kg/m ³) ②×①/100	2.27
④	細骨材(加工砂)中のNaCl量%	0.001
⑤	単位細骨材(加工砂)量(kg/m ³) (配合表に示された値)	626
⑥	1 m ³ 当たりの細骨材(加工砂)中のアルカリ量(kg/m ³) 0.53×④×⑤/100	0.00
⑦	粗骨材中のNaCl量%	0.000
⑧	単位粗骨材量(kg/m ³) (配合表に示された値)	1078
⑨	1 m ³ 当たりの粗骨材中のアルカリ量(kg/m ³) 0.53×⑦×⑧/100	0.00
⑩	混和剤中のアルカリ量%	0.4
⑪	単位混和剤量(kg/m ³) (配合表に示された値)	3.35
⑫	1 m ³ 当たりの混和剤中のアルカリ量(kg/m ³) ⑩×⑪/100	0.01
⑬		
⑭		
⑮		

〔計算の結果〕

コンクリート1 m ³ 当たりの全アルカリ量(kg/m ³)	③+⑥+⑨+⑫	2.29
国土交通省の規制値(kg/m ³)		3.00以下
判定		合